

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551)6215~9
ロシア東欧経済研究所 購読料 送料共前納 ・ 1ヵ月 1,200円 1ヵ年 14,000円

平成6年2月25日

No. 947

1993年のロシア経済（各論）

はじめに

本号では前回の「総論」に引き続き、1993年のロシアの経済実績の「各論」をお送りする。

1. 財政・金融

1993年のロシアの財政の動向は以下のようにになっている（確定値でなく見通し）。

連邦予算と地方予算の合計である連結予算の執行は、歳入が53兆ルーブル、歳出が64兆ルーブルとなり、11兆ルーブルの財政赤字を計上する見通しである。これは、GDPの6.8%にあたる。

歳入の主な財源は、利潤税18.5兆ルーブル、付加価値税13.0兆ルーブル、対外経済活動収入4.5兆ルーブル、所得税4.2兆ルーブル、物品税2.0兆ルーブルなどである。名目利潤の増大にともない、利潤税の比率が前年の29%から35%に拡大する一方、付加価値税の比率は38%から25%に低下する見込みである。

歳出の構成率はほぼ前年と同様で、国民経済費が30%、社会・文化費が27%、国防費が13%、行政費が7%などとなる。

このうち連邦財政は、歳入29.4兆ルーブル、歳出41.8兆ルーブルで、GDP比7.4